









# 選挙法改正案の説明

月二十七日

議員數を四百三十人、選舉法改正案を衆議院に提出するに先立ち友黨たる国民党、及び新政會、無所屬團の了解を求むべく二月二十四日原首代表者を相官邸に招待し原首及ぶひ床内相より改正案を内示し左の順序によりて夫々懇談する所ありたり

右の説明終るや堀川美哉氏  
今回の區制改正案は前年政  
が提案せるものと相違する  
其の理由如何と質問し内  
増加したる人口の増加し  
爲めにして更に行政区の設  
に就ても亦前年と多少相違  
ものあるが爲めなり。答へ  
鉄木幹事長より首相及び内  
對し「話の趣は之を承り、  
べとの挙る三時散會せり  
▲新政會に對する懇  
は午後三時開會、松元剛吉氏  
本是一郎、松田三徳の三氏  
原首相より無所屬議員及び  
に對して質問する所あり内  
すべき根本の基準如何にある  
支持する事となるべく之を  
要あり、軍事當局は目下頻り  
案の審議を乞うつゝあり  
接種して散會せり

間の種別差人

（後編）三九・山

（中略）

各路の旅館業者、旅館業者等の会員が、この連合会を組織して、その運営にあたる。この連合会は、主として、各路の旅館業者、旅館業者等の会員が、この連合会を組織して、その運営にあたる。

●通信投薬  
誠切に通譯の労を執り諸般の  
話題エニト  
K. S. SUZUKI'S OFFICE  
31 Buchanan St., San Francisco

●米化講演会

# 米化講演會

●花は八分通。亞都地方  
スピリトトキは今八分通  
捕へ一昨日の日曜日には諸  
よりの華やかな客も大勢あり  
の日曜日は満開ならんと  
●安達氏。祝宴。天津丸にて  
在る憲政會。總務、安達議員  
日本海外協會員の案の上に  
なるが昨夜の桑港に於ける  
會歡迎には潤東よりも多  
員出席したる筈  
●亞聯兒童に種痘。亞都日  
會にては同日會管轄地内に  
種痘を施す事となり目下  
なる醫師を物色中なりと  
●常識員補缺。麥橋市日會會  
員黒岩久吉氏辞任したるに伴  
新世界支社主任は社用にて大  
亞都地方に出張。麥橋大下  
會員出席したる  
●出生。王府在住正金銀行  
山源治氏宅に一昨年女兒出生  
レン照子と命名したる  
藤氏を推薦したりと  
●個人消息。鶴賀田中要三氏  
井松太郎氏は家族を引連れ  
歸國につき明成八時より庄内  
補缺としてアシビ。洗瀬所の  
藤氏を推薦したりと  
●安達議政會總務の來都。  
政治の大問題にして憲政會  
領なる同氏は戰闘の歌米と親  
せん爲め去る。十五日の天津丸  
到着せるが其傍ら加州同胞  
狀態を知らんが爲め桑港を中  
として各地を巡視する。布  
に来る節當市にも立寄る。都合  
りといふ來市のは當地佛教  
堂に於て一場の講演を乞ふ  
りと  
●佛教婦人會の評議員。  
安達議政會總務の來都。  
同氏は幹部の指名にて左記評  
議員の事を依頼せられたる事  
婦人に評議員たる事を依頼せ  
たるが爲め去る。十五日の天津丸  
到着せるが其傍ら加州同胞  
狀態を知らんが爲め桑港を中  
として各地を巡視する。布  
に来る節當市にも立寄る。都合  
りといふ來市のは當地佛教  
堂に於て一場の講演を乞ふ  
りと  
●佛樂部組織。當地佛教階  
井幸作郎氏。長老教會へ三  
弗及び學校へ二十弗の寄附あ  
り。住宅移轉。當地の大亦差  
ひなる元サムハンフレー氏の  
宅へ移転せり  
附せりと  
●寄附。近々總額を決定せる  
大廣間にエ・ス俱樂部と云  
のが生れた組織。其他内容の確  
定ハル。林原、川原、寺原、相馬、  
タミ、二字ハツ。以上六名  
雜誌社として堺本、松井の兩  
人には依頼せりと云ふ尙ほ大々  
たり當フ都日會へも二十弗も  
ひなる元サムハンフレー氏の  
宅へ移転せり  
附せりと

新街  
クランド一六九  
五一一〇ナレグ  
取容設備完全  
して品質優等  
グランド一六九  
クリン街七〇  
三一話王街二二  
田 產  
百品種雜貨  
山陽商  
寫眞館  
處進呈  
府  
八二八 羅府士  
人科  
牙科醫  
高木梅  
齒科醫  
田篤  
半自宅七五〇七  
ブル銀行三階  
四自宅七五〇七  
St. A. LOKA Bldg.  
St. A. L. A. C.  
OH  
墨株式會  
Industrial Co.  
石木保  
半自宅九五四  
狼々木  
半A四五九  
尾嘉一  
半A九一六  
邊敬  
半A九一六  
者診療  
十時  
宮田雄次  
東一貫  
んぶく  
三宮島館内八  
ドロ街一一〇  
一三〇六四  
Hokkaido  
Auto. Sch.  
Los Angeles  
St. L. A.  
日動車  
専門學校  
街八四  
八一三〇六四  
Hokkaido  
Auto. Sch.  
Los Angeles  
St. L. A.  
廣告  
保險會社  
松永多平  
正ホテ  
トロ街一一  
一一五、一六  
八、一  
L. A. Cal.  
向中威今回歸  
御愛顧の程奉呈  
正ホテ  
トロ街一一  
一一五、一六



ういふ藝者を一人一人數へて見  
「其れに私は其う出来なかつた  
此れからは叱つと其うしよ、  
旦那さへ守つて居れば餘計な心  
私がも苦勞せすと済むし、第一  
私の爲めに金を造つた山村さん  
には、義理として其うすべ  
きも當り前なんだそうして私の  
方が、其うふ氣持で附合へば  
旦那だつて、金づくで配弄する  
て居るなんて、水臭い心は出で  
くなるだらう。  
斯んな事を思つて居るうちに  
氣が附いた  
「やや、婆やは何うして遅いん  
だらう、もう燈を點さないでは  
不景氣仕様がない」  
小梅は立上がつて、部屋の隅  
から臺ラムブを取出した、そな  
れ前なんだね

「れども出なけりや、  
近所の人を呼ぶが如く  
斯う言はれて、始めて  
顔は眞白な、十二か三三ば  
の男の子であつた  
「何うも済みません、勘  
御くんなさい」  
「では、前は此の内へ  
入つたんだね」  
「ねえ、其うなんです、  
窓から紐を傳はつて下り  
見附つたんです」  
成程、別窓の紐がブラン  
だつてゐる  
「では、先づきから屋根  
ミシナ、いはして居た  
の前なんだね」



二十四)  
紅樓夢  
青々

青々園生作

向ふの一中筋が聞こになくなつてから、た蝶も歸つてしまつて、「小梅は茶の間に獨りぼっち」(婆や、た歸りからわ、につ、婆やちや無いこま)。二度三度呼び掛けても返事がないで、三度猛か鳳のだと思つたので、そうして済らンダブを點すと、又カタクリと音がした。小梅は其れが氣になつたので片手にラムブを提て臺所へ行つて見たら、燈を高く差上げて限なづ見廻すと、水瓶の脇に黒な虫がしゃがんで居る。キヤフと叫ばうとしたが、氣分な小梅は直くに度胸を据ゑた。「た前は何者だ、そんな所に隠

院病本日  
1811 Pine St., S. F. Cal.  
**入院隨時**  
診察時間  
自午後一時至同關時  
院長ドクター  
**黒澤格郎**  
新嘉坡街  
マーベット街七七  
Dr. W. L. Sapphire  
1811 Pine St., S. F. Cal.

いかな(終)  
からな色香に満れる思へに實に  
新開業 萬花樓  
ボストン街 一八二二  
電話ウエスト  
ト一五四四

て醫師の娘で居た頃から浮き名を立たれて居るところへ仙臺へ旅興行に來た旭歌劇團を見て都感しい。

■乙女心に女優生活

を空想し無理に両親の許しを受け上京して女優となり日本館に出て事あればまた原せい子の内弟子となり駒形劇場にも出て居ましたか一時或青年と許し合つて方舟を晦ました後の月か

ら「信子の一座」に入り男優の堀田金星に恋の甘酒汲み交しながら歸つて笑つて居ます如

竹岡病院

ドナルド・竹岡三之吉

竹岡専用電話二四五六五

血液胃脳尿糞の顯微鏡的化學的検食に應を

内臟、脳神經、眼科、小兒科、耳鼻咽喉科

監察時間  
自午前十時至十一時  
自午後一時至八時

「お前さん、んぬ隨分娘ぐり深い子供だね、警察へは大丈夫内分にして上げるからさ」

「はい、父さんもおるんです」  
「兩親ともあつて見たところが  
盜坊をするやうにも見ないが  
何うして其んなもし心にな  
つたか、彼方へ行つて、私に歸  
を聞かしてなく」  
「行けない〜、其んなことを  
云つて、僕を引留めて置いて、  
P. O. BOX Y  
Santa Paula, Calif.

「だつて、此の通りまだ何にも  
盗まないんですから、警察へ訴  
へることだけはもうか堪忍して  
御くんないい、僕が警察へ引張  
られて行くと、母さんが飢へて  
死んでしまふから」  
「ちやあ、お前さんはた母  
御夫婦いなしにても宜し。  
六十仙迄。九時間働きにて  
六年中休みなし。  
場所はナンタボーラ。仕事咸  
人貢募集

# 一、教授品目

# 化粧品製造法教授

教授は申込次第開始、  
教授品目

## 桑港化粧品研究所

1747 Sutter Street  
San Francisco, Cal.

港化粧品研究所

## 桑港化粧品研究所

# 一、教 授 品 目

百六十餘種

# 化粧品製造法教授